平成30年度大学図書館職員短期研修　10月3日（水）＠京都大学

海外研修経験から見えた大学図書館

富山大学　学術情報部図書館利用支援課
金田　佳子

本日の内容

1. 海外派遣に関するスケジュール紹介
   提出物や準備，アポイントメントのことなど

2. 海外派遣調査内容について

3. 海外派遣をふりかえって

4. 質疑応答

自己紹介

- 図書館での業務経験
  図書受入・目録（２年３ヵ月　中央図書館）→
  ILL・サービス業務（４年９ヵ月　医薬学図書館）→
  サービス業務（１年7ヵ月め　中央図書館）

- 事例報告
  石原 千尋 , 金田 佳子 , 小嶋 智美（2017）「「慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患診療ガイドライン」の文献検索を担当して」『医学図書館』64(1), pp.11-16.

- 海外に行った経験は…

1.
海外派遣に関するスケジュール紹介

2016.4
「海外派遣に応募しない?」と内島部長（当時）からお話しがある

2016.6
大学時代の同級生という理由で（？）大阪大学・小村さんを誘う

→
〇テーマ・行先の調整
〇米国の情報リテラシーを取り巻く状況調査
〇コーネル大学・ミシガン大学（アメリカ）が候補になったため，論文などを取り寄せて読む
〇英語の勉強

2016.12
訪問先・具体的なテーマ派遣時期決定

2017.1
海外派遣申請書類作成
出張に関する学内規則の確認

2017.2～3
コーネル大学・ミシガン大学へ調査訪問の交渉（メール）

2017.3
国立大学図書館協会海外派遣事業（短期）応募書類提出

2017.4
人事異動で五福キャンパス・中央図書館へ

2017.5
国立大学図書館協会海外派遣者に決定
学内の勉強会（国際WG）に参加
飛行機・ホテル等の手配

→
〇行先となった図書館での取り組みに関する資料を収集し，質問をまとめる
→本・論文を読み，質問を書き出し，質問をカテゴリー毎にまとめたあと英語で書き出し

2017.10
訪問先の大学図書館の方へ詳しい調査内容と，質問したい内容をメールで送付
待ち合わせ場所・時間などを調整
おみやげ等の手配

2017.11.5～11.12
海外派遣

2018.1
学内出張報告
「アメリカの大学図書館に行ってきました写真展」開催

2018.2
FD/SDセミナー「大学図書館が支援する授業手法改革：富山大学及び北米の事例を通して」発表

2018.3
大阪大学職員研修「大学図書館と他組織の連携・協力のあり方をさぐる：アメリカ合衆国の事例を参考に」発表

2018.4～5
国立大学図書館協会へ海外派遣報告書提出
「大学図書館研究」原稿執筆・提出

2018.6
国立大学図書館協会総会にて報告

２．海外派遣調査内容について：訪問日程

期間：2017年11月5日～12日

11/5（日） 移動日　富山⇒東京⇒ニューアークリバティー空港⇒イサカ空港

11/6（月） Albert R. Mann Library （Cornell University）訪問
Cornell Undergraduate Information Competency Initiative　についての調査

11/7（火） arXiv（Cornell University）訪問
物理学・数学・コンピュータ科学等のプレプリントサーバ　arXiv　についての調査

11/8（水） 移動日　イサカ空港⇒ニューアークリバティー空港⇒デトロイト空港

11/9（木） Taubman Health Sciences Library （University of Michigan ）訪問
医学図書館と医学図書館員が行う情報リテラシー教育についての調査

11/10（金） HathiTrust （University of Michigan ）訪問
米国大学図書館協同の書籍アーカイブ　HathiTrust　についての調査

11/11（土） 移動日　デトロイト空港⇒シカゴオヘア空港⇒東京⇒富山 （着：11/12（日））

2. 海外派遣調査内容について

- テーマは「北米の大学図書館事業における他組織との連携協力について―学習支援と研究支援の観点から―」
- 連携事業のあり方を学習支援・研究支援という観点に分け，大学図書館がその機能・役割を果たす上で，他組織との連携事業をどのように捉えるか，連携事業の開始段階・持続性確保の段階では何が重要なのか探る
- 学習支援の観点からは，情報リテラシー教育を教員と連携して行った事例を調査

2. 海外派遣調査内容について
コーネル大学での調査内容

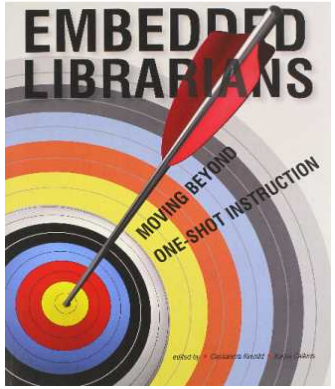
- ニューヨーク州イサカに本部をおく
- 学生数23,016人，教員1,650人，
  スタッフ8,283人の私立大学
- 図書館職員数は約378人
- 分野ごとに約20の図書館がある
- インタビューを申し込んだCamille Andrewsさんがいる
  Mann Libraryを訪問

2. 海外派遣調査内容について
コーネル大学での調査内容

Embedded Librarians:Moving Beyond One-Shot Instruction

Cassandra Kvenild,Kaijsa Calkins Eds.

Chicago, American Library Association, 2011. 235p.



9章「A Tale of Three Disciplines : Embedding Librarians and Outcomes-based Information Literacy Competency in Business,Biology,and Communication」

の著者の一人であるCamille Andrewsさんを訪ね，
著書にあった
Cornell Undergraduate Information Competency Initiative (CUICI)
を中心に情報リテラシー教育についてインタビュー

２．海外派遣調査内容について
コーネル大学での調査内容

- Cornell Undergraduate Information Competency Initiative (CUICI)とは，図書館と教授法やe-ラーニングシステム，ライティングのサポートを行う部署が，教員に対して行ったワークショップで，参加教員と共に，学部学生の情報リテラシースキルを向上させるカリキュラム案を作成したもの。最終的には，作成したカリキュラムで実際に授業を行う。
- CUICIで作成したカリキュラムのひとつでは

e-ラーニングシステムで基本的な事項を学ばせ，実際の授業では情報を批判的に捉えたり価値づけしたりすることを強調し説明する

２．海外派遣調査内容について
コーネル大学での調査内容

- 授業後の学生の感想
「信頼できる情報源を選んで使用できるようになった」
「検索語を効果的に使うことができるようになった」

- CUICIは2008～2010年に行われた取り組みで，予算の確保等の問題で継続されていないが，現在もリテラシー教育に携わること自体は続いている

- 事業の開始・継続のポイントは？
「キャンパス内で行われている他のプログラムに情報リテラシーのピースを埋め込むといいかも」

2. 海外派遣調査内容について
ミシガン大学での調査内容

- ミシガン州アナーバーに本部を置く
- 学生数46,002人，教員6,294人，スタッフ15,139 人の州立大学
- 図書館職員数は約454人
- 分野ごとに約40の図書館がある
- 学部全体のカリキュラムと連携しているTaubman Health Sciences Libraryを訪問

２．海外派遣調査内容について
ミシガン大学での調査内容

- Taubman Health Sciences Library（THL）は，医学に関する部門のための図書館
- 図書館員は，カリキュラムを設計する委員会に出席するところから情報リテラシー教育に関わりがある
- そのため，初年次から最終学年まで，最適なタイミングで情報リテラシーに関する授業を行うことができる

２．海外派遣調査内容について
ミシガン大学での調査内容

- 教員と授業で連携する際には，授業や学部の教育目標（コンピテンシー）にあわせて，図書館側が教えることができる内容を提案する

- 事業の開始・継続のポイントは？
「図書館員（あるいは私）と一緒に働きたい、という教員を見つけて、一緒にやってみること。もし良い仕事ができて、今までよりも良い授業ができるとわかれば、もう1回やろう、と言われるはずだし、次はもっと関われるはず」
「断られたらまたチャレンジすればいい」

２．海外派遣調査内容：実はこんな調査も

- 日本で出発前に図書館のカウンターで言われた一言
  「ミシガン大学の教授だったヤマギワ先生（**Yamagiwa, Joseph K. (Joseph Koshimi), 1906-1968**）の写真があったら見たい」
- 相談してみたところ
  「Bentley Historical Library（ミシガン大学の大学アーカイブ）にあるよ」
  「探し方と資料閲覧の申し込み方法を教えてあげる」
  →急きょ，次の日の午後閲覧することに（！）
- J・C・マクノートン著，森田幸夫訳（2018）『もう一つの太平洋戦争：米陸軍日系二世の語学兵と情報員』に掲載

３．海外派遣をふりかえって

＊Albert R. Mann Library
（Cornell University）

4. 質問はありますか？

グループ派遣のメリットは？

海外派遣の経験は今後に活かせそう？

海外派遣中のトラブルはあった？

派遣先はどのように決めたの？

楽しかった（苦しかった）？

一日の日程はどのように組んであった？

英語について

こうすればよかったと
思うことはある？

アメリカの大学／大学図書館は
どんな印象？

発表は以上です

お世話になった皆様に心よりお礼を申し上げます